

みんなのちから

4月1日(金) ~ 4月6日(水)

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向けて出発	仲間作りゲーム 研修①「オリエンテーション」	研修②「リーダーとは？」
2日目	研修③「カートンドッグ」 研修④「野外炊飯」	研修⑤「工作」	研修⑥「キャンプファイア」
3日目	研修のまとめ	まるかじりメンバー合流 レクリエーション	プチナイトハイク 屋内レクリエーション
4日目	カートンドッグ 野外炊飯	野外炊飯 グループタイム	キャンプファイア
5日目	清掃、思い出工作	片付け、休憩	カウンスルファイア
6日目	清掃、授与式 施設を出発	ランチタイム 解散式	

一日目： 今日から六日間という長丁場の中、“リーダー体験”という、普段なかなか出来ない経験をします。リーダーを経て、事前、事後とどれだけ成長されるのでしょうか？京都、兵庫から別々のルートで【曽爾高原】に到着しました。はじめましてのスタートの為、皆緊張なのか、様子見なのか、合流後はあまり積極的な会話は見られません。施設の麓で昼食を済ませたので、そこから施設まで30分ほど歩きます。その間に一つ目の研修として“他己紹介”をしました。相手の事をみんなに紹介する為、様々な質問や会話が必要となってきます。質問内容は多種多様で、広く浅く質問する方や、一つの質問を深掘りされる方もおられました。歩きながらでの会話なので、初めは会話のペースが遅かったですが、慣れてくると会話のペースも速くなり、上手にキャッチボールされている様子が見られました。そうこうしているうちに施設に到着し、荷物を宿泊棟に搬入させた後に他己紹介の結果発表です。道中、沢山会話をされたのですが、発表となると緊張のあまり、内容全てを言うことが出来ない方が多かったです。その後は“仲間作りゲーム”を行いました。これまでに沢山話をする機会を設けていたので、比較的皆、積極的に声を出されていました。レクリエーション一つ一つの意味も説明し、グループ活動に何が必要なのか、リーダーとして何が大切なのかを伝えました。夕食は初めての食堂利用です。食堂も後から来られる【まるかじりメンバー】と一緒に利用するので、取り方やマナー、片付け方も研修です。ナイトハイクの予定でしたが、本番当日は雨天の為、予定を変更して、レクリエーションの続きと座学を行いました。座学では各々が抱かれている【リーダーとは？】について話しました。そこで出たキーワード『責任』について話をし、明日から一人一人責任を持った行動をしてもらいます。朝の集合時に比べ、今では表情や気持ちも変わり、一歩リーダーとして進んだと感じました。

二日目： 昨日行いました“リーダーへの意識付け”の影響から、今朝の動きはキャンプの参加者とは異なり、各々意識を持って動かれていたように感じました。今日は一日研修の日で、主に野外炊飯を行います。朝食作りに【パックドッグ】を行いました。キャンプでは定番の食事であり、経験者がおられたことで、その方が率先して行ったり、教えたりされている姿が伺えました。朝食作りの後は、次も定番の【カレー】づくりを行いました。皆さん高学年なので、林間学校やキャンプで経験があるようで、基本の流れについては出来ていました。そこに各担当の動きに対する連携を取り、無駄なく動けるように流れの確認を取りつつ行いました。この辺りから、『積極性』に差が生じ始めてきました。普段の生活でも自信を持ちにくい方は、どうしても行動や発言が後手になってしまい、一歩遅れてしまいます。それではこのキャンプの意義が成り立たないので、「皆で足並みを揃えるためにはどうすればいいのか」を考えていただきました。野外炊事は全員が同じ事を出来ないの、情報や感想、改善をシェアする時間を設けました。メンバー自身でシェアする事に気付き、時間を掛けて、足並みを揃えようと話しておられました。この時にあきらかな成長を感じました。野外炊飯後は思い出工作“焼



き板”研修を行いました。こちらは全員が同じ事を経験するので、お互いの動きを見合いながら進めていました。研修を行い、振り返る時間をしっかり設ける事で、確かな力に変えていただきます。ただ、それを発揮させられるかどうかは別の話であり、発揮出来る為にまだまだ沢山の経験が必要です。今日で全ての研修は終わりました。明日の昼には【まるかじりメンバー】が来られます。メンバーを満を辞して迎えらるる為に、明日の午前中に各々出来る限り詰めていただきます。



三日目： この日から“春まるかじりツアー”が始まります。朝から昨日までなかった緊張感が漂っていました。二日間利用した部屋を一旦清掃し、今日から新しい部屋でメンバーと過ごします。昨日まででプログラムやリーダーとしての心得の研修は終わったので、残された時間でキャンプファイアの練習と、自身の気持ちの整理に充てていただきました。屋食を済ませ、ついにご対面です。まるかじりメンバーは「えっ!？」と驚く様子が伺えましたが、みんなの前で自己紹介をし、グループ発表をして集まっていた事で、ジュニア皆さんに付いて来てくれていたので、出だしは好調のようです。グループ対抗で“仲間づくりゲーム”を行いました。まるかじりメンバーからジュニアの名前が呼ばれている様子も伺え、グループとして動いているようです。レクリエーションが終わり、入浴、食事の時間です。まるかじりメンバーもキャンプに慣れてきたので、走り回ったり、遊び出したり、戯れ合ったりし始められたので、徐々にジュニアの手が回らなくなってきた様子でした。プログラムをこなしていかなければいけない事に頭がいっぱいで、メンバーの様子を見る余裕がなく、グループメンバーを置いてけぼりにしてしまったり、声が出ておらずオロオロさせてしまったりし、バラバラになり始めてきました。それでもなんとか一日を終えることが出来ました。その時のジュニアの表情は満身創痍でした。お昼のレクリエーションでまるかじりメンバーの気持ちを掴みかけたのですが、まだ完璧に掴んでおられないので、翌日にどうすれば良いのかミーティングを行い、各グループに入っているリーダーと話し合いました。明日は一日活動で、野外炊飯がメインです。ジュニアの皆さんにはやり切った気持ちを持っていただきたいので、今日中に出来る限り解決をし、明日に繋げていただきたいです。



四日目： 昨晚、沢山の反省と改善を促され、考え、朝から実行されている姿が沢山の伺えました。今日は一日屋外での活動なので、準備がとても多く、起床時から各部屋でドタバタ音が絶えませんでした。朝食は一度研修で行った“パックドッグ”です。作り方は研修で学んでいるのですが、それを伝えるとなると別問題です。自身のグループでやる事が一度に分散されるので、自分の立ち位置に困惑していました。我々から檄を飛ばされ、徐々にではありますが、どこに立てば全体が見えるのか、誰をサポートし、任せればいいのか分かってきたようで、それに合わせてグループの動きが活性化されてきました。なんとかパックドッグが完成し、食べ終わると、休む間もなく“カレー作り”がやってきました。先程の係の分担より更に難しく、再び困惑される姿が伺えました。その中でも、まるかじりメンバーへの接し方を適当にされず丁寧にされていたので、メンバーへの想いを感じる事が出来ました。予定より少し遅れましたが、カレーも完成し、まるかじりメンバーと一緒に美味しく食べておられました。この後の片付けの際、疲れが困憊されていたのでしょうか、動きや判断、メンバーへの対応に鈍さが出てきました。ゆえに、片付けのペースが遅くなり、完了時間が大幅に遅れてしまいました。ここで、一旦ジュニアの皆と話し合うタイミングを設けました。皆が頑張っている事、頑張らないといけない事を再確認しました。その中で特に、「声を出そう！返事をしよう！」と大きな目標を掲げ、気合を入れ直し、後半戦に臨みました。そこからは生まれ変わったかのようにやる気に満ち溢れており、夕食時も食堂に皆さんの声が響いていました。夜のプログラムは“キャンプファイア”です。二日目に考え、三日目に練習した内容を元気いっばいに披露されていました。これまで聞いたことのない大きな声で、体をめいっばい使って表現され、一生懸命なジュニアのレクリエーションに、まるかじりメンバーは本当に楽しそうにされていました。夜の振り返りでは、これまでとは違う本質をついたコメントを書かれていました。みんなのちからはまだ続きますが、【春まるかじりツアー】は明日が最終日です。まるかじりメンバーに最高の思い出を作っていただけのように、最後まで全力で取り組んでいただきます。



五日目：今日はまるかじりメンバーが退所となる日です。これまでのジュニアの積み重ねが朝から発揮されており、声を出し、返事をし、まるかじりメンバーに声を掛けている姿が沢山見ることが出来ました。朝食までに荷物の整理、シーツ返却とやる事が多くありましたが、どのグループもジュニアの指示のもと、頑張っておこなっていました。朝食後に部屋と棟内の清掃を行い、まるかじり最後のプログラム“思い出工作”を行いました。焼き板をバーナーで焼くところから始めます。昨夜のミーティングの時にバーナーの取り扱いについて細心の注意を払うよう伝えていたので、ジュニア達はそれを念頭に【安全第一】で行ってられました。焼き終わると少しホッとされていたのか、グループから緊張感が抜け、絵を描く作業はメンバーと一緒に本当に楽しそうにされていました。その様子はメンバーに混じってという事ではなく、グループのリーダーとして、まとめながら楽しんでおられる様子でした。プログラムが終わり、昼食を済ませると、まるかじりメンバーをお見送りです。バスに乗車前、お別れの言葉を伝える姿はリーダーそのものであり、本当に遅く、立派に成長されました。まるかじりメンバーを見送った後は、夜の活動まで休憩をしていただきました。休むのかな？と思いきや、部屋で終始談笑を楽しむ声が聞かれ、元気そうでした。夕食後、再びまるかじりのリーダー達と合流し、“カウンスルフアア”を行いました。この五日間の軌跡を動画にまとめたものを観たり、一人一人感想述べたりして、五日間を振り返りました。誰もが「初めは出来ると思っていた。」と仰っていました。しかし、いざしてみると思うようにはいかず、四苦八苦されながら進み、それでもこうしてやり切ることが出来た事に賞賛を贈りたいです。本当にお疲れ様でした。



六日目：昨日に大方清掃は行ったので、使った部屋を掃除し、長期間利用した“そら棟”に御礼とお別れを告げ、退所しました。午前中は担当のリーダーと最後の振り返りです。五日目の内容だけではなく、期間中全体の事も踏まえ行いました。昨日のカウンスルフアアを通してか、ジュニアからの意見は道筋が見えており、これまでのような当たり障りのない内容や、言いたい事がまとまらないような発言はありませんでした。振り返りが終わり、ついに施設を後にする時がやってきました。快晴のもと、授与式を行いました。一人一人名前を呼ばれて前に出てくる姿は、確かな自信を身にまとい、どこか誇らしげな様子を伺えました。返事もこれまでとは違う喉から出てくるものでした。全体写真を撮って、閉会式も終わりました。バスに乗り込み施設を後にする姿は、どこか寂しげな様子が出ていました。しかし、30分も走ると、やはり疲れが蓄積されていたのでしょうか、全員休まれました。昼前に施設を出発し、キャンプ最後の昼食はご馳走を込めて、“お寿司”を食べました。お店に入り、リーダー、ジュニア皆でいただきました。とても賑やかで、和やかな雰囲気なので、皆の中にしっかりとした繋がりが出来ているのだと感じました。昼食を済ませると、解散場所へ向かいました。一人一人にお別れを告げ、キャンプは終わりました。全員完走することが出来ました。本当におめでとう。そして、これからも頑張ってください。



<キャンプ総括>

これまでの内容に比べ、【振り返り】に重きをおき、ゆえに一泊延ばして、じっくり、たっぷり振り返りを行う事が出来ました。感想ではなく、自身の行動を振り返る事で、出来た事、出来なかった事、悔っていた事、不安だった事、様々な思惑が交差されたと思います。ジュニアの皆さんはこれほどまでに自身の行いや存在意義を振り返られた事はあまりないかと思えます。大人でも数少ないかと思えます。カウンスルフアアで、ジュニアから発せられた一言一言は、私自身にも身に染みるものがありました。それは私達も同じ道を歩んでおり、同じ壁にぶつかり、悩み、葛藤されていたからです。積み上げては何度も押し潰され、その繰り返しです。こうして、何度も潰されながらも積み上がっている土台が、決して潰れることのない、『確かな力と自信』に繋がります。それらをこれからどう活かしていくのはジュニア皆さん次第です。我々に来ることは全力でやりました。どうか私生活や学校などで大いに活かしていただきたいです。そして、更に積み上げる為に、来年もこの場でお会いしましょう。本当にお疲れ様でした。本当におめでとう。(竹中 哲郎)